※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　地歴・公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「公共」　（第１学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会で起こる事象に対して「なぜ」の視点を持ち探求心を高める。
・現代社会で主体的に生きていく自らの在り方生き方について考える。
・現代社会の諸課題に対して、幸福、正義、公正の観点から考察、判断、表現する。

2　学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

・現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

・よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的･多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１章　公共的な空間をつくる私たち Ⅰ　公共的な空間と人間とのかかわり 1 社会に生きる私たち 2 個人の尊厳と自主・自律 3 多様性と共通性 4 キャリア形成と自己実現 Ⅱ　社会に参画する自立した主体として 1 伝統や文化とのかかわり	■社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ	a：・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか，自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している ・人間は，個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに，対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 ・自分自身が，自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが，自らのキャリア形成とともに，よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。 b：・公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・孤立して生きるのではなく，地域社会などのさまざまな集団の一員として生きるとともに，異文化などの他者との協働により，人間としてのあり方・生き方を多面的・多角的に考察，表現している。 ・伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 c：・公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決しようしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
	第２章　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 Ⅰ　人間としてのあり方生き方についての探求	■古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。	a：・選択・判断の手掛かりとして，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，選	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	1 人間と社会のあり方についての見方･考え方 2 実社会の事例から考える～環境保護 3 実社会の事例から考える～生命倫理 Ⅱ　選択･判断の手がかりとなる倫理的価値 1 公共的な空間を形成するための考え方 2 よりよく生きる行為者として活動するために		択･判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに,行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが,よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としてのあり方生き方に関わる諸資料から,よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し，読み取る技能を身に付けている。 b：・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と,行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し,自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験などを通して，多面的・多角的に考察，表現している。 ・幸福，正義，公正などに着目して考えている。 c：・公共的な空間でどのように生きるかについて,先哲の生き方などを参考に,人間としてのあり方生き方について,現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	第３章　公共的な空間における基本的原理 Ⅰ　自立した主体となることに向けて 1 人間の尊厳と平等 2 個人の尊重 3 民主政治の基本的原理 4 法の支配 5 自由・権利と責任・義務 Ⅱ　よりよい公共的な空間づくりをめざして	古今東西の先人の取り組み，知恵などを踏まえ，公共的な空間における基本的原理を理解する。	a：・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して,人間の尊厳と平等,協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが,公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など,公共的な空間における基本的原理について理解している。 b：・幸福，正義，公正などに着目して考えている。 ・公共的な空間における基本的原理について,思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して,個人と社会との関わりにおいて多面的･多角的に考察し，表現している。 ・公共的な空間における基本的原理と日本国憲法の基本的原則を関連させ	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	1 世界のおもな政治体制 2 日本国憲法に生きる基本的原理		ながら，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 c ：・個人と国家・社会との関係から，世界のおもな政治体制について，自己のあり方生き方と民主主義がどのように関係しているか理解している。			
	第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 主題1　法や規範の意義と役割 1 私たちの生活と法 2 法と基本的人権 3 自由･平等と法･規範 4 法をよりよく変えていくために	■憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解する。 ■法やルールを定める時には，どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。	a ：・法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。・法には国家と国民の間を規律する公法や，私人間を規律する私法などがあること，法は刑罰などによって国民の行為を規制し社会の秩序を維持するだけではなく，国民の活動を積極的に促進し，紛争を解決するなど，日常生活に密接に関連していることを理解している。 ・基本的人権が保障されるにいたった経緯を，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b ：・生徒に身近な紛争や課題を取り上げ，どのようにすれば公平・公正に調整できるのか，主体的なルールを作成・利用することで考察，構想，表現している。 ・法をよりよく変えていくために，自由権の意味や，社会権が私たちの生活をどのように変えたのか，新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。 ・幸福，正義，公正などに着目して考えている。 c ：・法や規範の意義と役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
	主題２　契約と消費者の権利･責任 1 さまざまな契約と法 2 消費者の権利と責任	■契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する	a ：・成年年齢が18歳以上となったことに対し，成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 ・契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

			付けている。 b：・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：・契約と消費者の権利・責任について，現代の諸課題を具体的な例をもとに，主体的に解決しようとしている。			
	主題３　司法参加の意義 1 裁判所と人権保障	■個人や社会の紛争を法に基づいて公正に解決するために必要なしくみと，国民が果たすべき責任を理解する。	a：・国民の権利を守り，社会秩序を維持するために，公正な裁判が保障され，法律家が重要な役割を果たしていることを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 b：・検察審査会や国民の司法参加の意義など，具体的な主題を設定し，その主題を追究・解決するために考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：・司法参加の意義について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
第2学期	第２章　政治的な主体となる私たち 主題４　政治参加と公正な世論の形成 1 選挙の意義と課題	■よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成	a：・政治参加と公正な世論形成に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・選挙権年齢が 18 歳以上であることを踏まえ，選挙の意義や，政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・国会の地位と構成・権限，議院内閣制のしくみ，内閣総理大臣の権限，行政の	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	2 政治参加と世論形成 3 国会と立法 4 内閣と行政の民主化 5 地方自治と住民の福祉	することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 ■民主政治を推進するために，私たちが果たすべき責任を理解する。	民主化について，理解している。 ｂ：・選挙のしくみ，政党の役割，世論の形成について，さまざまな情報手段を活用して，考察，構想し，表現している。 ・地方自治には，直接民主制の考え方に基づくしくみが，国政よりも多く取り入れられていることを理解しつつ，地方自治の課題についても考察，構想し，表現している。 ｃ：・政治参加と公正な世論形成について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
	主題５　国際社会と国家主権 1 国家と国際法 2 国境と領土問題 3 国際連合の役割と課題	■主権国家が並び立つ国際社会は，どのように成り立っているのかを理解する。	ａ：・国際社会と国家主権に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 ｂ：・国際法の意義と役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ・国際社会と国家主権について，国境や領土をめぐる諸課題を主体的に解決するために，必要な情報を収集し，考察，構想している。 ・国際連合などの国際機関の役割や課題について，国際平和の維持と安定のために広い視野に立って考察，構想したことを，論拠をもって表現している。 ｃ：・国際社会と国家主権について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	主題６　日本の安全保障と防衛 1 平和主義と安全保障 2 核兵器の廃絶と国際平和	■日本国憲法の平和主義の下，私たちが果たすべき責任を理解する。	ａ：・日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。 ｂ：・日本国憲法の平和主義をふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的･多角的に考察し，表現している。 ・核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え，軍縮の意義や効果について，さまざまな観点から考察している。 ｃ：・日本の安全保障と防衛について，国連憲章や日米安全保障条約，平和主義を掲げる日本国憲法の下，現代の諸課題の解決に向けて，主体的に取り組もうとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
	主題７　国際社会の変化と日本の役割 1 今日の国際社会 2 人種･民族問題と地域紛争 3 国際社会における日本の役割	■国際社会を実現するために必要な日本の役割を理解する。	ａ：・国際社会の変化と日本の役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・人種・民族問題と地域紛争の実態，難民問題にする資料を，さまざまな情報手段を用いて収集し，課題の解決に向けて，国際社会では何がおこなわれているか，理解している。 ｂ：・変化する国際情勢の中で，日本の安全が世界の平和の維持といかに関連しているか，広い視点に立って理解し，さまざまな観点から考察している。 ・持続可能な開発(SDGs)にふれながら，国際社会の安定について，国民レベル，国家レベル，国際レベルで何ができるかを，さまざまな観点から考察し，論拠をもって表現している。 ｃ：・国際社会の変化と日本の役割について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	第３章　経済的な主体となる私たち 主題８　雇用と労働問題 １私たちと経済 ２ 労働者の権利と労働問題	■公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ■少子高齢化による労働力不足が問題となる中，活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。	ａ：・仕事と生活との調和という観点から，雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・企業・家計・政府の三つの経済主体を考え，経済的な主体となる私たちは，どのように経済活動に参加しているのか，理解している。 ｂ：・雇用と労働問題について，日本的雇用慣行の崩れなど，現代の諸課題を主体的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・近年の雇用事情の変化とさまざまな労働問題について，具体例をあげて多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ｃ：・雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	主題９　社会の変化と職業観 1 技術革新の進展と産業構造の変化 2 企業の活動 3 農林水産業の現状とこれから	■グローバル化・情報化・少子高齢化が進む現代社会において，将来の働き方をどう考えていけばよいか理解する。	ａ：・社会の変化と職業観について，人工知能の進化の影響など，現代の諸課題を理解している。 ｂ：・技術革新の進展による生活の変化，産業構造の変化，経済のサービス化・ソフト化について，身近な問題と関連させて考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・企業の役割や種類から，株式会社のしくみや企業の社会的責任について考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・農林水産業の現状と今後について，さまざまな情報を基に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ｃ：・社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
	主題 10　市場経済の機能と限界 1 市場経済と経済運営 2 市場経済のしくみ 3 経済発展と環境保全 4 経済成長と国民福祉	■公正で自由な経済活動を通して，市場が効率的な資源配分を実現できるしくみを理解する。	ａ：・経済の基本的なしくみと資本主義経済，社会主義経済の特徴を理解している。 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ｂ：・価格の変化が，消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか，さまざまな観点から多面的・多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・市場機能の限界に対する公共財の供給について，政府の役割を多角的に考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・外部不経済の典型例である公害について理解し，公害を防止し環境を保全するための方策について考察，構想し，論拠をもって表現している。 ・経済成長が生活に与える影響を，具体的事例をあげて考察している。 ・市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	主題 11　金融のはたらき 1 金融の意義や役割	■経済において，金融市場はどのような役割を果たしているのかを理解する。	a：・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・資金の流れ，金融機関の役割，日本銀行の役割について理解している。 b：・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c：・金融のはたらきについて，現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査
	主題 12　財政の役割と社会保障 1 政府の経済的役割と租税の意義 2 社会保障と国民福祉	■少子高齢化が進む中で，財政や社会保障を持続可能なものにするために，政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。	a：・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 b：・財政政策の意義，日本の財政の課題を理解し，財政のしくみ，租税の意義と課題について，具体的に事例をあげて考察，構想し，主体的に考えている。 ・社会保障の意義を理解し，現在の社会保障の課題について考察している。 ・社会保障制度の充実・安定化に関し，各国の租税負担など財政状況を比較しながら，日本の社会保障制度の諸課題を多面的・多角的に考察，構想，表現している。 c：・財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

3学期	主題 13　経済のグローバル化 1 国際分業と国際貿易体制 2 国際収支と為替相場 3 経済のグローバル化と日本 4 地域的経済統合の動き 5 国際社会における貧困や格差 6 地球環境問題 7 資源・エネルギー問題 8 国際社会のこれから	■経済がグローバル化する中で，貧困や格差などの問題を乗りこえ，すべての人が幸福に暮らすために，国際社会や私たちがどうあるべきか考える。	a：・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・グローバル化の進展により，貧困や格差の問題，地球環境問題などの解決が，地球的な課題となっていることを理解している。 ・国際経済問題の解決には，国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることを理解している。 ・地域的経済統合がもたらす影響について理解している。 ・国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について，国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 ・地球環境問題が国際的な問題になっていることや，その解決に向けての取り組みを考察，構想し，表現している。 ・資源の有限性を理解しつつ，新エネルギーなどの開発が期待されていることを理解している。 b：・貿易の意義，円高・円安が生じる理由，貿易摩擦などについて，考察，構想し，表現している。 ・地理など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：・国際協力のあり方，国際協調の重要性から，日本の役割について自分自身の問題として，主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※令和４年度以降入学生用

	第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち ①地球環境問題～排出量取引を考える ②資源･エネルギー問題～ベストミックスを考える ③生命倫理～ゲノム編集を考える ④情報～インターネットによる投票を考える ⑤国際社会の課題～フェアトレードを考える	■持続可能な地域，国家･社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う，公共の精神をもった自立した主体となることに向けて，幸福，正義，公正などに着目して，現代の諸課題を探究する活動を行う。	b：・地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。 ・課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 ・現代の諸課題を，「第1編　公共の扉」で学んだことを基に，幸福，正義，公正や公共的な空間における基本的原理を用いて，考察，構想し，論拠をもって表現している。 c：・現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査	ノート 授業発問 考査

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度